

金網善恭*・坂東忠司**：平野 實先生のご逝去を悼む

Yoshiyasu Kanetsuna and Tadashi Bando : Dr. Minoru Hirano (1910-1994)
in memoriam.

日本藻類学会設立の発起人の一人で、淡水藻とくに鼓藻の研究において偉大な足跡を残された京都大学名誉教授・元梅花短期大学教授平野實先生は去る平成6年9月1日午後5時11分長岡京市の病院でパーキンソン病のため84才の生涯を閉じられました。

先生は1910年6月2日(明治43年)三重県津市のお生まれで、旧制松山高等学校を経て1934年京都帝国大学理学部植物学科に入学されました。1937年3月卒業、翌4月に副手、次いで大学院特別研究生の後、助手、助教授を歴任され、1965年教授、1974年定年退官、1975年より梅花短期大学教授、嘱託教授を最後に1984年退職されました。

先生が研究で最も力を注がれたのは鼓藻類ですが、後年に藍藻や珪藻類の分野にも及びました。先生のご研究は次の3期に分けられるように思います。

第1期は京都大学時代の大部分で33年間(1937-1969)は鼓藻類を主に研究された時代です。当初は10年先輩の岡田喜一先生が手をつけられたばかりでわが国での研究の初期でした。国内での文献はもちろん殆どなく、外国文献の入手も困難な時であったため、先生はWest父子による英国産鼓藻の5冊を半年かかって手書きしたと言っておられました。これはほんの一例で、当時は今と違って文献の複写にも大変な苦勞がいった時代でした。採集にあたっては池沼、湿原地帯

を求めて九州から北海道に至る平地や山岳地帯を限なく踏破され、細心の注意を払って水質を分析し、藻類と溶存する化学物質との関連を研究されました。その労作は1955~1960年にわたってラテン語でFlora Desmidiarum Japonicarum, nos. 1-7.にまとめられ、1961年日本産つづみも類誌により理学博士の学位を得られたわけです。この論文は図版54枚と膨大な水質分析の資料によるもので、未だその例がみられなかったものでした。日本の国力の発展に伴い、海外への探査もさかんになってきましたが、その結果得られたネパール、アフガニスタン、ブータン、カラコルム、タイから南極、アラスカなどの藻類も手がけられました。

第2期は京都大学退官近くから梅花短期大学の15年間(1970-1984)で鼓藻以外に藍藻と珪藻の論文をかなり出しておられます。これらの報文中には藤女子大学教授岩城住江氏と共著で北海道の珪藻を研究されたものが多数含まれています。この間に出版された日本淡水生物学(1973)、日本淡水藻図鑑(1977)には先生が鼓藻類を執筆しておられ、中でも後者はFlora Desmidiarum Japonicarumの日本語版であり、鼓藻研究者にとって貴重なものとなりました。前期に引き続いてヒマラヤ、カンボジア、ボルネオ、メソポタミアなどの海外の藻類を手掛けられました。

第3期は退職されてからご逝去までの10年間(1985-1994)です。ご家庭で研究されましたが、お身体のご様子は手紙などに手の震えが伺われ、年の経過と共に歩行のご不自由さが目立ち、パーキンソン病の症状が進んでまいりました。しかし、先生は1985年からご逝去までの約10年間、淡水藻類写真集に数多く執筆されました。病の進行のため図1枚画かれるのにも相当のご苦勞があったと思われませんが、1992年にDesmids from Thailand and Malaysia(100頁51図版)の論文をも出されました。これは先生ご自身が採集されたものだけに気がかりになっておられたのでしょうか。ご逝去になる前でも意識がはっきりしておられる時は「やり残した仕事がある」と奥様に言い続けておられたということです。

先生は身長164cm、体重48Kgの痩せ型で物静かな

方でした。普段大きいお声は出されず淡々として話をされました。また、健脚で山岳地帯を歩き山深きひなびた温泉をこよなく愛され、研究の合間にはバッハなどの曲を聞いておられたそうです。粹にはめられる生活はお嫌いで自由な生き方を好まれ、食べる位の給料はいただいているから好きなことのできる境遇に満足だと言っておられました。飄飄乎という言葉が本当にあてはまる方でした。

先生は地方で催される小・中・高校の教員対象の淡水生物の講習会にも気軽に出かけられました。飾らない誠実なご性格は、これを機に全国的に多数の鼓藻愛好家を生むことになりました。筆者の一人である金網も先生に教えを乞うて40有余年、淡水藻写真集にも共著で執筆させて戴いたことは望外の果報というほかはありません。

ここにありし日の先生を偲び、心からご冥福をお祈り申し上げます。

(*〒603京都市北区小山初音町, **〒612京都市伏見区深草藤森町1番地 京都教育大学生物)

平野 實先生の主な業績

- Hirano, M. 1942, 1943. The Desmids-Florula of the Oze-district, I-III. *Acta Phytotax. Geobot.* 11 : 272-302 ; 12 : 17-45, 71-98.
- 平野 實 1943. 関西の南方系デスミッド. *植物分類, 地理* 13 : 147-152.
- 平野 實 1944. 九州泥炭地ノ鼓藻類. *植研* 20 : 33-50.
- Hirano, M. 1948. Desmidiaceae novae Japonicae (I). *Mem. Coll. Sci. Univ. Kyoto, Ser. B*, 19 : 65-69.
- Hirano, M. 1949. Some new or noteworthy desmids from Japan. *Acta Phytotax. Geobot.* 14 : 1-4.
- Hirano, M. 1952. Plankton desmids from Lakes Ikeda and Unagi. *Acta Phytotax. Geobot.* 14 : 101-103.
- Hirano, M. 1953. The alpine desmids from the Japanese Alps, 1, 2. *Bot. Mag. Tokyo* 66 : 125-134, 205-210.
- Hirano, M. 1954. The desmid-flora of the Nasu volcanic range. *Jap. Journ. Bot.* 14 : 215-234.
- Hirano, M. 1955-1960. Flora Desmidiarum Japonicarum, Nos. 1-7. *Contrib. Biol. Lab. Kyoto Univ.* 1 : 1-56, pls. 1-9 ; 2 : 57-105, pls. 10-16 ; 4 : 107-165, pls. 17-25 ; 5 : 155-225, pls. 26-30 ; 7 : 226-301, pls. 31-38 ; 9 : 302-386, pls. 39-52 ; 11 : 387-474, pls. 53, 54.
- 平野 實 1960. 国後島の淡水藻類. *陸雑* 21 : 113-123.
- 平野 實 1963, 1964. 八重山群島の淡水藻 1, 2. *植物分*

類, *地理* 19 : 142-145 ; 21 : 55-64.

- Hirano, M. 1964. Freshwater algae of Afghanistan. *Res. Kyoto Univ. Sci. Exped. Karakorum and Hindukush*, 1955, vol. 3 : 167-245.
- Hirano, M. 1965. Freshwater algae in the antarctic regions. *Monogr. Biol.* 15 : 127-193.
- Hirano, M. 1966. Freshwater algae of Karakoram and Swat-Himalaya. *Res. Kyoto Univ. Sci. Exped. Karakorum and Hindukush*, 1955, vol. 8 : 55-66.
- Hirano, M. 1967. Freshwater algae collected by the Joint Thai-Japanese Biological Expedition to Southeast Asia 1961-62. *Nature and Life in Southeast Asia (Publ. Faun. Fl. Res. Soc., Kyoto)*, vol. 5 : 1-71, pls. 1-16.
- Hirano, M. 1968. Desmids of Arctic Alaska. *Contrib. Biol. Lab. Kyoto Univ.* 21 : 1-53, pls. 1-13.
- Hirano, M. 1969. Freshwater algae from Rangtang Himal, Nepal Himalaya. *Contrib. Biol. Lab. Kyoto Univ.* 22 : 1-42, pls. 1-5.
- 平野 實・岩城住江 1970. 大雪山の珪藻 (1). *藤女子大学・藤女子短期大学紀要* 8, ser. II : 59-105.
- Hirano, M. 1971. Freshwater algae of the northwestern Himalayas. *Contrib. Biol. Lab. Kyoto Univ.* 23 : 81-100, pls. 1-7.
- Hirano, M. 1972. Desmids from Cambodia, with special reference to Phytoplankton of Lake Grands Lacs (Tonle Sap). *Contrib. Biol. Lab. Kyoto Univ.* 23 : 123-157, pls. 1-13.
- Hirano, M. 1973. Freshwater algae from Mesopotamia. *Contrib. Biol. Lab. Kyoto Univ.* 24 : 105-119, pls. 1-9.
- 平野 實 1976. 尾瀬の珪藻. *梅花短期大学研究紀要* 25 : 75-87, pls. 1-9.
- 平野 實 1979-1983. 鼓藻類雑記, 1-7. *植物分類, 地理* 30 : 11-14, 119-126 ; 31 : 52-56, 182-188 ; 32 : 68-74 ; 34 : 81-86, 109-113.
- 平野 實・岩城住江 1982. 雨竜沼の珪藻. *藤女子大学・藤女子短期大学紀要* 20, ser. I : 27-50.
- Hirano, M. 1983. Freshwater algae from Skarvsnes, near Syowa Station, Antarctica. *Mem. Nat'l. Inst. Polar Res., Ser. E* 35 : 1-31, pls. 1-19.
- 平野 實 他 1984-1994. *Closterium abruptum* W. West ほか多数. 山岸高旺・秋山 優 (編), *淡水藻類写真集*. 内田老鶴園, 東京.
- Hirano, M. 1992. Desmids from Thailand and Malaysia. *Contrib. Biol. Lab. Kyoto Univ.* 28 : 1-98, pls. 1-51.